

主な客観情勢の変更について

本書の発行後、情勢の変更があったものについて、主なものをまとめました。本書をご使用の際、ご考慮いただければ幸いです。

指導資料(書籍)

箇所	情勢変更の内容
p.109 右 「京都議定書」	〔最終行に追加〕 そのようななか、2017年6月、アメリカ合衆国はパリ協定から離脱することを表明した。
p.149 指導内容の整理 18行目	電力発電量において、インドが成長し世界第3位となりました。 〔現行〕 発電量→アメリカ合衆国、中国、日本が多い 〔変更後〕 発電量→アメリカ合衆国、中国、インドが多い
p.160 指導内容の整理 11行目	日本とアフリカ諸国のエネルギー消費量の比は、劇的に縮まりつつあります。 〔現行〕 →高い水準へ(アフリカ諸国の8倍) 〔変更後〕 →高い水準へ(アフリカ諸国の4倍)
p.182 右 「p.152⑧」	〔最終行に追加〕 なお、アキタ電子システムズは2014年に日立超LSIに吸収合併され、解散した。
p.195 指導内容の整理 19行目	NAFTAに代わりUSMCAが発効されました。 〔現行〕 →北米自由貿易協定(NAFTA)(1994年) 〔変更後〕 →米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)(2020年)
p.195 指導内容の整理 20行目	環太平洋経済連携(TPP)協定の表記を変更しました。 〔現行〕 →2013年以降、環太平洋経済連携(TPP)協定の協議 〔変更後〕 →日本を含む環太平洋地域の11か国…TPP11協定(2018年)
p.271 右 「一人っ子政策」	2021年8月20日の全国人民代表大会の常務委員会で、夫婦が第3子を出産することを正式に認める「人口・計画出産法」の改正案が成立し、即日施行されました。これに伴い、令和4年度教科書からp.235用語解説①の記述を修正しました。
p.281 指導内容の整理	教科書で、2018年に行われた初の米朝首脳会談について、年表に追加記載しています。
p.311 指導内容の整理 下から2行目	2019年3月にカザフスタンの首都の表記が変更となりました。 〔現行〕 アスタナ(カザフスタン) 〔変更後〕 ヌルスルタン(カザフスタン)
指導上の留意点 下から1～2行目	〔現行〕 アスタナの様子を確認させる 〔変更後〕 ヌルスルタンの様子を確認させる
p.315 右 「p.268②」 5～9行目	ウズベキスタンのデータを2018年のものに更新しています。 〔現行〕 →ウズベキスタンはいまだに綿花が中心である。 〔変更後〕 →ウズベキスタンは金(貨幣用)と天然ガスが輸出額全体の約半分を占めている。
p.329 指導内容の整理 13行目	2020年1月31日にイギリスがEUから離脱しました。 〔現行〕 現在 加盟国、28か国 〔変更後〕 現在 加盟国、27か国(2020年1月31日にイギリスが離脱)
p.330 右 ④「EU加盟国の拡大」、⑥「EUの歩み」 最終行	2020年1月31日にイギリスがEUから離脱しました。 〔現行〕 ～注目されている。 〔変更後〕 ～注目された。その後、EUとイギリスの離脱交渉は難航したが、2020年1月31日にイギリスはEUから離脱した。
p.361 左 下から5行目	〔最終行に追加〕 このような状況のなか、アメリカ合衆国が自国に不利に働く協定として改正を求めたため、2020年に米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)がNAFTAに代わって発効した。

訂正のお知らせ

本書におきまして、記載に誤りがございました。つぎのとおり訂正いたします。ご迷惑をお掛けいたしますこと、謹んでお詫び申し上げます。

1) 指導資料(書籍)

箇所	もとの記述	訂正後の記述
p.21 左 「地球の自転と公転」内 5行目	地球が自転する際の中心軸である地軸は、公転面に対して約23度26分傾いている。	地球が自転する際の中心軸である地軸は、公転面に対して <u>垂直ではなく、約23度26分</u> 傾いている。
p.48 右 「チェックの解答・解説」内 4行目	安定陸塊は先カンブリア時代から古生代・ <u>古生代</u> の地層	安定陸塊は先カンブリア時代から古生代・ <u>中生代</u> の地層
p.132 左 ①「牛の頭数」内 5～6行目	インドのヒンドゥー教では牛が聖なる動物(神の乗り物)として崇拝されているため、牛は食料として飼われているわけではないのに対して、	インドのヒンドゥー教では牛が聖なる動物(神の乗り物)として崇拝されているのが <u>一因であるの</u> に対して、
p.133 指導内容の整理 下から2行目	鮭の <u>栽培漁業</u>	鮭の <u>養殖業</u>
p.139 指導内容の整理 下から5行目	<u>灌漑</u> 施設の整備	<u>灌漑</u> 施設の整備
p.146 右 TRYの解答 1行目	2. インド <u>24.6</u> 中国 <u>26.3</u> スリランカ <u>8.7</u> ケニア <u>9.1</u> トルコ <u>6.0</u> インドネシア <u>4.9</u> 日本 <u>2.8</u> ベトナム <u>3.7</u> 。	2. インド <u>22.1</u> 中国 <u>32.7</u> スリランカ <u>6.3</u> ケニア <u>8.9</u> トルコ <u>5.2</u> インドネシア <u>3.4</u> 日本 <u>1.9</u> ベトナム <u>4.4</u> 。
p.320 指導内容の整理 下から8行目	ザンビア… <u>銅製品</u>	ザンビア… <u>銅</u>

2) 教科書関連データ(DVD-ROM)

箇所	もとの記述	訂正後の記述
〔テスト例14〕 「村落と都市 / 都市・居住問題」単元	〔問6(4)の解答〕 <u>昼間</u>	<u>夜間</u>